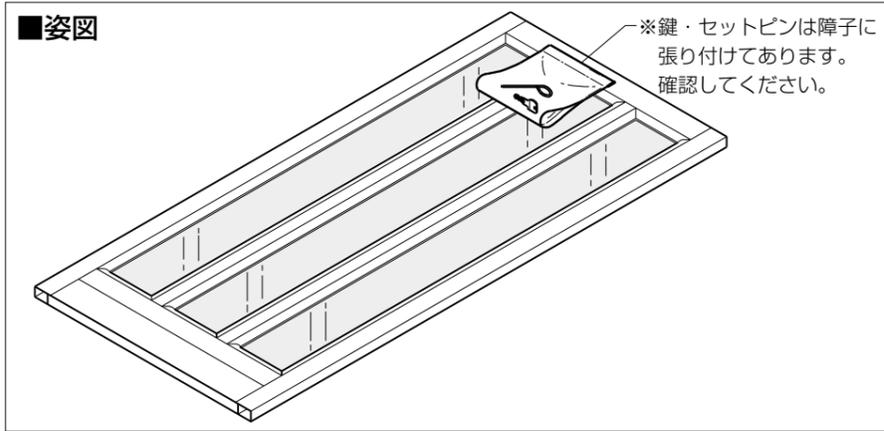


# 玄関引戸 障子および錠の調整方法

## ■お願い

- 障子は、必ずこの説明書に従って、正しく取り付け・調整してください。(錠が掛からなくなるおそれがあります。)
- 錠の調整には、潤滑油等を使わないでください。ほこりが付着して錠の動きが悪くなります。

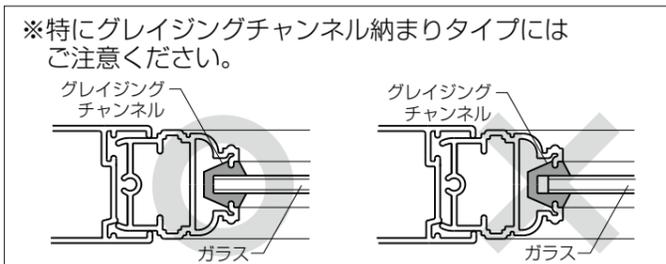
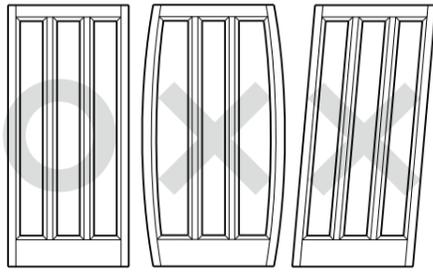
## ■姿図



## ■障子の取付けと調整

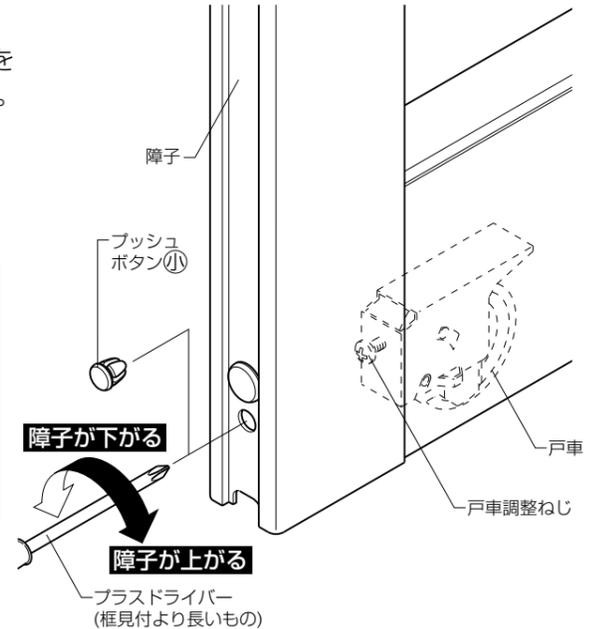
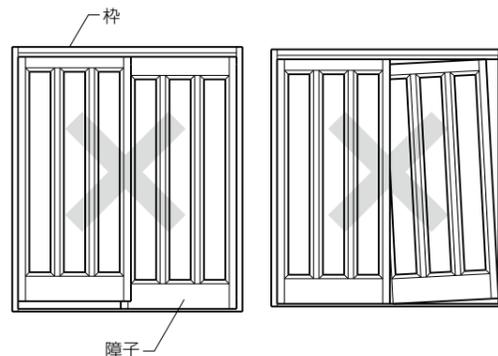
### 1 障子取付け前のご注意

- 障子を枠に建込む前に、出来寸法が適正であるか確認してください。(錠の位置が合わなくなります。)
- ※必ず正常な出来寸法に組み直し又は、矯正してください。



### 2 障子の建付け調整

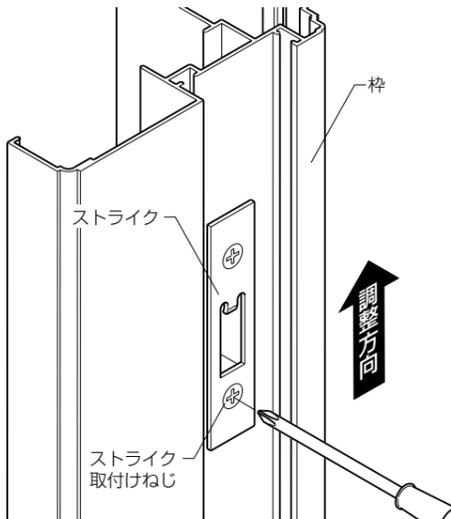
- 障子の納まりが悪い場合は、戸車調整ねじを回して障子の傾き・ズレを直してください。
- ※障子は、一番下がった状態で出荷されます。(調整幅：上方向6mm)



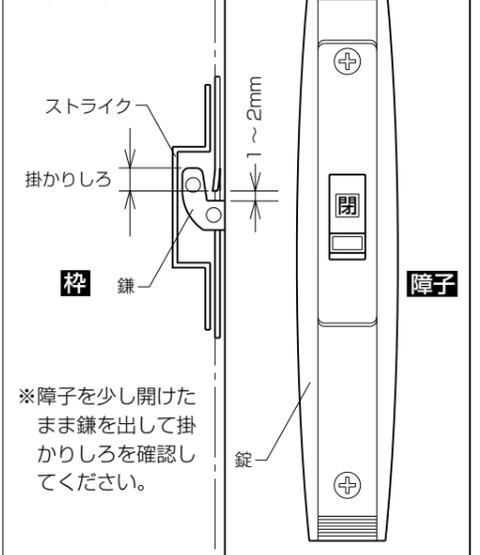
## ■玄関引戸錠の調整

### 1 引手錠の調整

- 引手錠が掛かりにくい場合は、ストライク取付けねじを軽くゆるめてストライクの位置を上下に調整してください。(調整幅：上方向6mm)
- ※ストライクの位置を上げすぎると、錠は掛かりやすくなりますが、鎌の掛かりしろが少なくなり、外れやすくなります。



### ■施錠状態



### 2 召合わせ錠の調整

#### ■内錠の調整(玄関引戸全機種)

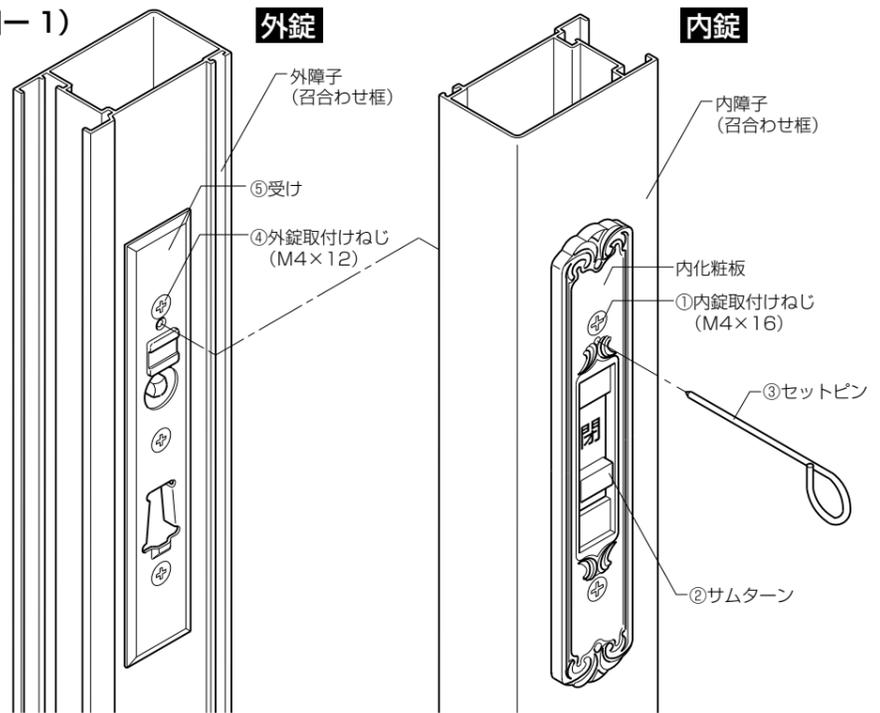
- ①内錠取付けねじ2本をゆるめます。(図-1)
  - ②障子をきちんと閉めて②サムターンを閉にします。③セットピンを根元まで差し込んだまま、①内錠取付けねじをしっかりとしめます。
- ※その際、サムターンの開閉がスムーズにできる事を確認してください。

#### ■外錠の調整

##### (光悦・花伝・菩提樹・藤樹)

- 内錠を調整しても錠が掛かりにくい場合は、④外錠取付けねじをゆるめて⑤受けの位置を上下左右に調整してください。(図-1)(調整幅：左右各1.5mm, 上下各3mm)

(図-1)

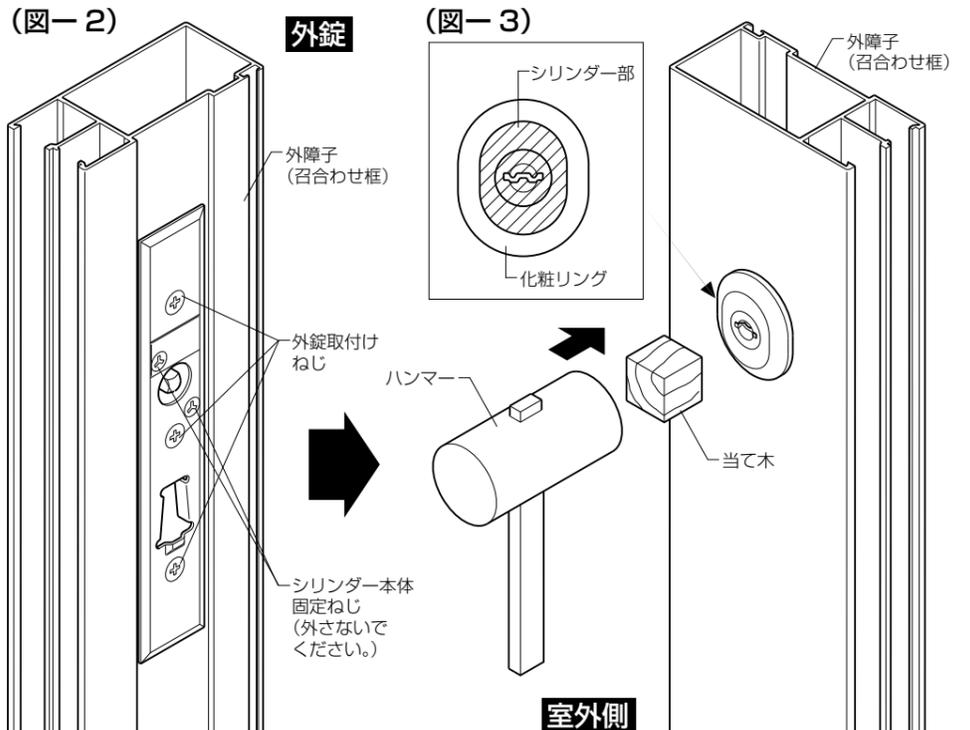


#### ■外錠の調整(一番町・エルミナ)

- 内錠を調整しても錠が掛かりにくい場合は、外錠を調整します。

- ①外錠取付けねじ3本をゆるめます。(図-2)
- ※一番上のねじは取り外せません。一杯にゆるめてください。
- ②室外側より、シリンダー部のみに当て木をし、ハンマー等で軽くたたきます。(図-3)化粧リングが外れ、外錠が上下左右に調整できます。(調整幅：左右各1.5mm, 上下各1.5mm)
- ※化粧リングを絶対にたたかないでください。(框にキズが付きます。)
- ③調整完了後、化粧リングをはめ込みます。

(図-2)



(図-3)